



たんぽぽ

会長挨拶

第3代会長 庄司 諒



同窓生のみなさん、会長の庄司です。先日年号が平成から令和へと変わり、新しい時代が始まりました。私はまだ令和という言葉に慣れていませんが、みなさんはどうでしょうか？1回生から現役生も含めて多くの人々が人生のほとんどを平成とともに歩んできたので同じ気持ちだと思います。宮城野高校も平成7年に創立された学校であり、初めて新しい時代を迎えました。また、まもなく25周年という大きな節目も迫っています。

この25年の間に宮城野高校もさまざまな変化がありました。当初は普通科が人文国際コース、理数情報コースと分かれていましたが、平成18年度からコースが廃止されました。校庭も地面がむき出しでしたが平成9年に芝生の植え付けが行われ現在の姿になっています。一方で変わらないものもあるかと思えます。例えば個性重視と自己管理の精神は今でも引き継がれ、校内の各ボランティアや行事に現れていると思えます。

平成の間に卒業生は6000人を超え、社会の幅広い分野で活躍されています。宮城野高校には令和の時代も変わらずに個性重視と自己管理の精神を引き継いだ人材を育成してもらいたいと思えます。

令和が良い時代となって私を含めた多くの人々に良い思い出を残す時代となってくれたらと思います。

校長挨拶

第10代校長 遠藤 吉夫



同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より、母校の教育活動に対して心温まるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本校での校長、2年目となる遠藤吉夫と申します。よろしく申し上げます。

さて、本校は平成7年4月に開校しましたが、以来今年で25年目、節目となる四半世紀を迎えました。ちょうど元号は平成から令和となり、その新しい時代にふさわしい「宮城野らしさ」を打ち出すべく、今いろいろと思案中です。

既に実行に移したのですが、本校教育の進化をはかるべく、新年度から「教育方針」を下記のように打ち出しました。

教育方針・・・①進路目標の達成 ②自己教育力の向上 ③未来デザイン力の育成

この教育方針③「未来デザイン力の育成」については、本校HP内の総合学科の「未来デザインプロジェクト」の説明に、こう書いてあります。

未来デザイン力＝社会の抱える課題を解決し、よりよい未来社会を創造しようという力

この「未来」は、もちろん本校の大切にしているDNAです。また、総合学科のみならず、普通科、美術科の生徒も、この「未来デザイン力」を本校でしっかりと培い、よりよい未来社会を創造する人材となってほしい、そう思って「教育方針」に入れました。本校教育のさらなる発展に一層のご支援ご協力をお願いする次第です。

ところで、来年、令和2年の10月30日に25周年の記念式典を開催すべく、同窓会の皆様やPTA三団体の皆様のご協力により「25周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、現在鋭意準備中です。同窓会の皆様からの多大なるご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、一層の記念事業の充実をはかるべく、同窓会の皆様に改めて「25周年記念事業」に対してご寄付をお願いすることにいたしました。詳しいところは、今後同窓会総会や同窓会報等を通じてお知らせしてまいります。ご協力、よろしく申し上げます。

最後になりましたが、現役宮城野高生と、同窓会員の皆様のますますのご活躍とご健勝を願い、結びといたします。

表紙作者紹介

笠間 弥路 : Miro Kasama



プロフィール

2002年宮城野高校美術科彫刻専攻卒業(5回生)
美術にまつわる仕事をしながら暮らしています。

表紙に込めた思い

「とりにある宇宙に出会う喜びを込めて」
日々の生活の中に輝く粒のようなものを拾い上げて、それを見つめて考えることから制作しています。表現は目的ではなく、生きることに寄り添うようにそこに在るものだと思います。この度の表紙制作にあたり、高校生の頃に何も掴むことができずに、青い青い田んぼを眺めた日々をぎゅっと思い出しました。寛容な学び舎であったことに感謝しています。

平成30年度 同窓会総会・懇親会



平成30年9月22日。仙台ガーデンパレスにて総会ならびに懇親会が行われた。総会は創立25周年記念事業による支出を含めた全ての議案が可決された。また、非公式ながらも将来の同窓会の財政状況についても話が上がった。懇親会には約50名が参加し、幹事の19回生が中心となり近況報告や昔話、年の離れた先輩後輩の交流などで終始賑やかな会となった。

そんな懇親会の参加者数名のコメントを掲載します。

笹川直子(1) 2年ぶりに参加できました。子育て×仕事に追われる毎日のよい息抜きになりました!!

西海奏(1) 楽しい一時でした。ありがとうございました。

若生啓太(6) (現職員) 同窓会の事務局のみなさんのおかげで大変充実した時間が過ごせました。同窓会にもまた変革の波が来そうですが、頑張ってください!何か手伝えることがあれば微力ですがお声がけください。

吉澤和(16) 今年も参加できて良かったです。来年はもっと16回生増やしたいです。今回はサラダとデザートがなくて少し残念...。

相沢ひとみ(18) 本当にとってもとっても楽しかったです♡次は4時間くらいにして下さい(笑)。ありがとうございました。

村尾雄斗(19) 初参加でビビりながら会場まで。予想以上にとけ込みやすい場だったので楽しく過ごせました。来て良かったです。

加藤健太(19) 今回の同窓会は昨年より同回生が増えたので来年もっと連れてくるぞー!!

佐藤夏郎(19) 担任の先生が来ていてびっくりしました。いろいろお話できたので良かったです。

仲佐梨奈(19) 先生達に会えてよかったです! 来年も来たいな!と思います。

大場悠生(21) 来年も参加したいと思います。

岩淵悠(21) 来年もまた来ます。

山崎美羽(21) とても良い会でした。貴重なお話を聞くことができました。



高橋七緒(21) 美味しいものも食べることができ、友達、先輩、先輩、先方と食事・交流ができてとても楽しかったです。宮城野高校がさらに好きになりました。

武山乃梨(21) すごく楽しかったです。佐藤さん、同窓会中もお仕事お疲れ様でした。

山下美緒子(旧職員) 今日は懐かしい人たちと久しぶりにお会いでき楽しい時間を過ごすことができました。幹事の皆様お疲れ様でした。

佐々木久美子(旧職員) ありがとうございます。楽しい時間でした!!これから先も同窓生パワーUPして下さいませ。



高橋晃子(旧職員) とても楽しいひとときでした。来年もまた来ます!

阿部文男(旧職員) 楽しかったです。まさにHOMEですね。校歌合唱素晴らしかったです。すてきな会がありました。今後宮城野高校に栄えあれ!

遠藤吉夫(現職員) (校長) どうもありがとうございました。

加藤英明(現職員) 初めて同窓会に参加させていただきました。とても楽しかったです。来年もまた参加したいです。

文化祭出展

平成30年7月14日に行われた文化祭に出展し、来校者の方々に歴代の宮城野白書を見ていただいた。

同窓会入会式

平成31年2月28日に同窓会入会式が行われ、22回生271名が正会員として入会し、ホーム幹事として22名が選出された。

22回生 ホーム幹事

ホーム	幹事氏名(★印…常任幹事)			
31H	オイデ 生田 優太郎	ヤマグチ 山口 泰生	タイセイ	オトハ
32H	オオトモ 大友 啓輔	ササキ 佐竹 歩	アユム	マコト
33H	★藤原 藤原 慶果	★秋原 秋原 珠衣	ジュイ	オトハ
34H	オノノ 小野 颯月	クニタニ 熊谷 菜子	サイキョウ	オトハ
	ササキ 佐藤 梓音	ハラウチ 原口 萌花	ミヤモト	オトハ
35H	タケハチ 橋 涼乃	ミヅウラ 三浦 多加良	ミヅウラ	オトハ
	イシガワ 石川 達也	オオタニ 大谷 妃奈子	オオタニ	オトハ
36H	ナリタ 成田 翔規	モリ 毛利 美結	モリ	オトハ
37H	アツミ 熱海 涼華	オウクボ 大久保 歩武	オウクボ	オトハ
		サトウ 佐藤 優太郎	サトウ	オトハ

旅立ちなのか、終止符なのか、 進むのか、引くのか

渡邊 由香里 1回生

ここ宮城野に入学し日々を過ごす中で、きっと誰しもが感じ、気付かないようにしていても付き纏うもののひとつに、これからの長い人生に於ける自身の夢や目標があるのではなからうか。

夢や目標は果たして抱けているのか。進学した先のたった数年間で見付けられるものなのだろうか。

この学校に入ると中学校生活とは打って変わる。途端に大人のように「責任と引き換えに得られる自由」を学ぶ。だが実際は未成年と常識という枷が足元をうるちよろし、矛盾したなんとも言えない感情を生み出す。

だが社会に出ても枷とを感じるものは必ず存在し得るのだ。夢や目標があればなおのこと、この枷の存在を感じてしまう。

きっともし今これを読んでいるあなたが後ろから何か得体のしれないもの（もしくは良く存じているもの）に付き纏われている感覚があるのなら、あなたは前を向いている証拠なのである。

正しいか間違いか、明確か曖昧か、そんなことは関係ない。どこかに進もうとしている。

進んだつもりでいたものが引いていることもある。逆に引いたつもりだったのが実は進んでいることもある。

ただ、全ては繋がっていて、そのどれにも無駄なことはない。

抱いた感情一つ一つもすべて、自分の後ろに連なる一瞬前の自分である。

枷など所詮、一瞬前の自分が作り出している“まやかし”なのだと、いつかどこかで気付いた者は、自分は何でも叶えていける存在なのだと信じられるようになる。

「旅立ったのか、終止符を打ったのか。進んだのか、引いたのか。」その時には分からないことである。

だがきっと、この学校に在籍した者が各々に羽ばたいているのは、こうした自由と責任の狭間に於ける矛盾した感情を早くから感じられているからではなからうか。

と、ジェットコースターのような人生を歩んでいる先輩は思い耽るのである。

皆さんに幸あれ。令和が令和たる時代になることを願って。



大学選別に失敗したのかな～？ という話を敢えてここで。

佐藤 夏郎 19回生

現在僕は、秋田の美術大学に在籍しております。

僕は元々メンタルが脆弱で、宮城野高校在籍時に進路や家庭の事情等々でパンクしてしまい半年ほど不登校をしました。それでも何とかストレートで高校を卒業しました。その際にいるんな方に迷惑等々かけてしまって、大変申し訳ないという感謝というか…。

受験時は半年ほどブランクがあったわけですから半ば諦めており、一浪してもしょうがないかな～と軽いノリで割と楽しく受験用デッサンをしていました。受験した大学は本命の大学と、滑り止めの秋田にある大学の2校のみでした。余裕のある家庭ではないので東京は色々高いから無理、私立は論外、という理由から公立で家賃が安い場所で選びました。

予想外にも、滑り止めの大学に受かってしまいました。軽いノリで受けたとはいえ、合格発表前はかなり緊張しており、合格者の中に自分の番号があったときはハイになりました。それ故、そこに入らないという選択肢は自然と消えていました。

入学したのはいいものの、前述の基準で選びましたから入った後のことはあまり考えていませんでした。なので、講義や課題をこなしているうちに、僕はいったい何をしているのだろうか？何がしたいのだろうか？という気持ちになり…、そこに追い打ちをかけるように秋田の冬の厳しい気候。メンタルが弱いものですから当然病み、ダウン。単位もボロボロ…。自分に向いていない大学なのでは？とポッキリ心が折れてしまいました。

そこで大学2年の終わりに思い切って1年休学することにしました。結局ただのお休み期間になってしまいましたが、改めて大学のことだったり自分のことだったり考える時間ができたのはいい事だったのかなと思います。ただ、このようなことは大学を選ぶ段階でしていたら違ったのかな？と、どうしても思います。もちろん大学に入って視野が広がってはじめて考えられたのかもしれませんが…。

かなり遠回りをしてしまった気もしますがそれも人生ということで受け入れていこうかなと…。今後も年齢関係なく挫折したり壁が立ちだかたりすると思うと鬱ですがめげずに人生を謳歌していきたいです。



草原で馬に乗る

仲佐 梨奈 19回生

皆さんは、『人生で一度はやっておきたいことリスト』を持っているだろうか。去る2年前の夏、私はこのリストにある項目の一つ消化することにした。それは、『草原で馬に乗ること』だった。どうしても大学生のうちに叶えておきたい夢で、運良く大学内に同じ趣旨のツアーの募集が掲載されていたので、私は迷わず応募したのだった。ツアーは全日程9泊10日。大阪から上海まで船、上海から内モンゴル自治区まで寝台列車、モンゴルで馬。ちなみに行きは高速バスで大阪、帰りは神戸に船で帰国し、仙台へは飛行機で戻ったので、おおよそ世の中にあるメジャーな交通手段の全てを使った旅となった。乗ってないのはバイクとラクダくらいだろうか。そうして3日をかけてようやく草原に辿り着き、ついに念願の馬に乗ることができた。ところで、馬に乗ると聞いて、これを読んでいる方の多くはゆっくりのんびり進んでいく牧歌的な様子を思い浮かべているのではないだろうか。しかし、残念ながらモンゴルの馬はそんな生易しくはない。馬の歩調には名前がついていて、並足、早足、駆け足と段階がある。並足というのが牧場で見かける乗馬体験の馬、駆け足が競馬場の馬と言えば分かりやすいだろうか。私たちは開始一時間で、とりあえず準備運動とばかりに駆け足に乗せられた。馬というのは群れで行動するもので、乗り手に力量がなければその傾向はより強くなる。そうして三日間、ほとんど馬にしがみつくようにして揺られていた。命の危険を感じる場面が何回かあったが、それでも馬の背で風を切る感覚は忘れられない。草原をクリアしたので、次は砂漠に行きたいと思っている。サハラかナミブか、砂丘をとぼとぼ歩いてみたい。



潤いのある生活

森 詩織 18回生

18回生の森です。昨年度は、教育実習で久しぶりに仙石線を使い宮城野へ通う機会をいただきました。宮城野の素晴らしさを改めて実感する実習期間でした。

美術系でもないのに、突然美大を志してしまった私も、この春からデザイナーとして社会人デビューいたしました。社会全般の知識不足を感じて一般企業に就職することを選び、勉強の毎日です。

さて、私ごとですが、大学の卒展が終わってから、実家から連れてきた猫と一緒にくらしております。宮城野の前に捨てられていた猫たちのうちの1匹です。3月に7歳を迎え、とてももちもちふわふわしております。これまで実家で暮らしていたので、走り回れるところを減らしてしまいましたが、毎日元気に走っています。

さらにゴールデンウィーク明け、大学で野良猫が生まれたのを引き取り、子猫1匹、大猫1匹との生活が始まりました。子猫は5/23現在670g、大猫は4.8kgです。まだ猫同士は仲良くないですが、頑張っって仲を取り持ちたいと思います。

同窓会会員の皆様におかれましても、お忙しく活躍なさっているかと存じます。ライフワークバランスなどという言葉が叫ばれる昨今ですが、ぜひ癒しを見つけてご自愛ください。猫と暮らしていたら猫アレルギーがとても軽くなりました。猫はとてもいいです。



宮城野高校の思い出

壺岐 史章 5回生年次主任

私は、1回生の3年担任と、4回生の1年担任、5回生の年次主任を務めました。1回生にはカルチャーショックを受けました。清掃に来ない人がいても「いいんです。あの人たちは来ませんから。」と言って、さっさと掃除を済ませるカッコ良い女子生徒。朝のSHRでは常時10人ほどおらず、窓の外を見ると、特に急ぐでもなく列をなして登校する風景。W先生は、「私たちが話しているのは、一番町で辻説法しているようなものだ。」と嘆息していました。個性あふれる楽しい人たちでした。

5回生の一年次はオープンHR^{*}編成で始まりました。A君が体育的行事を発起して、生徒主体でやりきったこと。二年次から学科コース別HRとなると予測して、オープンHRを望む生徒の中から発起人が出て、署名運動が起きたこと。三年次で行った、アラカルト講座・集中講座に、多くの皆さんが積極的に申し込みに駆けつけたことを覚えています。遅刻指導の中で、「あなたも勤めれば遅刻しないようになるよ。」と言った言葉を覚えていた人が、卒業後に遊びに来て、「先生、私、勤めてから一度も遅刻していません。」と報告してくれたこともうれしい思い出です。



※オープンHR：学科関係なくクラス分けされる編成方式

宮城野TOPICS

第22回美術科卒業制作展

これまでの宮城県美術館から陸前原ノ町駅隣接の宮城野区文化センターへと会場が移った。宮城県美術館が改修工事を控えていることによる措置である。どうなるかという不安な声もあったようだが、実際のところ大成功と言っていいだろう。展示会への敷居が低くなり、ワークショップを開く新たな試みや土曜日には「みやぎのマルシェ」というイベントが併催されとても楽しい雰囲気であった。宮城野生の創造性豊かな性質を考えるとこちらの方が合っているのかもしれない。来年の卒業展ではどんなことが行われるのか今から楽しみである。



美術科を代表して
卒業実行委員長の八島紗良さんに
インタビューをしました。

・3年間の集大成となる卒業展を迎えました。先ずその心境を聞かせてください。

1年生の頃、先輩方の卒業制作展を見て2年後私も本当に同じことが出来るのだろうかと思うくらい圧倒されたのをよく覚えています。こうして卒業を無事に迎えることが出来た今でも信じられないという思いの反面、感慨深い気持ちです。



・今回から場所も変わり新たな試みも行われました。それについてはどうでしたか？

前例のないことで、試練と挑戦の連続でした。0から1を築き上げるに等しい状況の中、多くの壁にぶつかりましたが、その度にみんなで話し合い、協力しながら乗り越えることができました。31Hが1丸となって取り組めたことを誇りに思います。

・宮城野高校美術科だからこそ学べたこと得たものは何ですか？

美術の技術だけでなく、美術と向き合う姿勢や人間性など、美術科での活動を通して美術をする者として、人として大切な事を沢山学ばせて頂きました。芸術との関わりを通じての気づきは、ここでしか得ることのできない貴重な経験だと思えます。

・皆さんの今後の進路、将来の夢はどういったものがありますか？

美大をはじめ、専門学校、一般大学、就職などその進路は多岐に渡ります。それぞれがここで培った美術の技術や経験を生かした道を進んでいきます。

ご協力どうもありがとうございました。皆さんの今後のご活躍を期待しています。

創立25周年記念事業について

宮城野高校は、今年創立25周年目を迎えました。今年度の入学生は25回生になります。昨年11月には創立25周年記念事業実行委員会が設立されました。実行委員会には同窓会の代表者10名が加わっています。

事業全体は以下のとおり大きく4部門で構成されています。

1. 記念式典
2020年(令和2年)10月30日(金)
仙台サンプラザ大ホール
2. 記念事業(検討中)
3. 祝賀会
式典同日
仙台サンプラザ宴会場
4. 記念誌編纂

同窓会幹事会で確認された同窓会関連のことについて報告いたします。

- ① 記念事業全体に対し、同窓会特別会計から400万円を拠出する。
- ② 10周年の時のような、同窓会独自の「記念誌十名簿冊子」は作らない。
学校の記念誌の中に同窓会のページを含める。
(①、②は昨年の同窓会総会で確認済み)
- ③ 25周年記念事業実行委員会が行う記念事業の充実に充てるための募金依頼文書を、今年の同窓会総会案内送付の際に同封する。

右記③といっしょに記念誌に載せる同窓生の一言メッセージも募集しています。

読書感想画中央コンクール 最高賞受賞

第30回読書感想画中央コンクール(全国学校図書館協議会など主催)高校・指定読書の部で、当時在学中だった22回生の岩淵伶奈さんの「心のシャッター」が、最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。岩淵さんは、北極圏やエベレストなどをフィールドに活躍する冒険家で写真家の石川直樹さんのエッセー「北へ」を読んで表現しました。この日本一という快挙をご紹介しますと共に岩淵さんに話を聞きました。

Q. 出品までの経緯を教えてください

A. 三年生の後半は受験が早く終わって時間があり、公募展にたくさん出品していました。冬休みは何をしようかなと思っていたところに、高校の図書館だよりで読書感想画コンクールの案内が載っていたので、「よし、これをやる」と思い、始めました。また、課題図書の中からこの本を選んだ理由は、「氷や雪の世界が好きなので表紙の雪山



「心のシャッター」作・岩淵伶奈さん(22回生)
読書感想画中央コンクール 文部科学大臣賞 受賞

の写真が一番目に飛び込んだからです。それで迷わず手に取りました。

Q. どういう思いで描いたのですか

A. この本はエッセーで、作者の見た情景、感想、思考などが直に書かれています。作者の思いと私がそれを読んで抱いた思い、作者が実際に見た情景と文字で著された景色を私が頭のなかで想像した情景など、作者と私の頭にあることは、同じようで全く別のことだと考えたので、そこを区別しようと思いました。作者が見た(であろう)景色を具象的に、私が本を読んでイメージした作者の体験の様子を抽象的に描きました。

Q. 受賞後の変化や現在の生活について教えてください

A. 一番は、以前よりも本を読む時間が増えました。それまでは、時間がやたらかかるため、あまり読んできませんでしたが、今回読書感想画に取り組んでみて「本から得られる知識、制作に生かせるイメージ」の深さ、濃さを知りました。本を一冊読むことは、スマホでSNSを眺めることの比じゃないくらい時間と集中力が必要ですが、その分吸収できるものがとても多いと思います。今では空きコマの度に大学の図書館に入り浸っています。目標は、卒業までに大学の図書館にある(推定何千冊)美術関連の本を全て読むことです。

1 回生同窓会

平成最後の年末押し迫る2018年12月29日、国分町某所で、宮城野高校1期生忘年会が行われました。

年末寒波で0度を下回り、路面は凍りつく夜でしたが、遠藤校長はじめ先生9名、1期生26名、子供7名の42名が集い、会場の店は真夏のような熱気に包まれていました。

会を企画した丹野香奈子さん(旧姓)によると、きっかけは2018年9月の同窓会懇親会の2次会での話とのこと。丹野さんと澤田千春さん(旧姓)が幹事となり、友人伝手や1期生Facebookグループ、遠藤校長の旧職員ネットワークでの呼びかけで、3ヶ月の短期間ながらこれだけの人数が集いました。人によっては卒業以来の再会もある中、まもなく40歳を迎える1期生も今では要職に就く先生方も顔を合わせるとあつという間に先生と生徒にタイムスリップ☆懐かしい話や近況の話で盛り上がり、あつという間に時間が過ぎていきました。最後には、一同での集合写真も撮影。写真からも当日のアツい様子が伝わってくるのではないかと思います。

丹野さんに企画の経緯とご感想を伺いました。

「遠藤校長とは、卒業してから、毎年賞状でのやり取りが続いておりました。そんな、大変お世話になった遠藤先

生が、なんと！再び宮城野高校の校長先生に！てなわけで、すぐに会いに行きました。母校での再会は、気持ちいあの頃、22年前?!のまま。『せっかくなので、忘年会しましょう！1期生に声かけてみます！』から始まりました。まさか、こんなに集まるとは!!集まってくれた友人達に感謝です^^」

お仕事もプライベートも多忙を極める中、会を企画されたお二人や繋いでくれた皆さんに感謝です！そして、同窓会の運営に関わる身としては、毎年開催する同窓会総会・懇親会の場合、これからもそんな集まりのきっかけになれば良いなと思っています。

(笹川直子)



平成29年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 決算書
(平成29年8月～平成30年7月)

1 収入の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
会費	1,503,000	1,468,800		34,200	会費: @1800円 × 835名 退会等会費返金: @1800円 × 19名 (延べ)
繰越金	1,779,472	1,779,472			前年度繰越金
雑収入	0	0			
合計	3,282,472	3,248,272		34,200	

2 支出の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
1 総務費	270,000	40,769		229,231	
(1) 会議費	30,000	15,769		14,231	幹事会茶菓子・飲み物代
(2) 旅費	150,000	5,000		145,000	幹事会交通費
(3) 需用費	50,000	0		50,000	
(4) 慶弔費	30,000	20,000		10,000	在校生(学生会員)の逝去に伴う香典
(5) 雑費	10,000	0		10,000	
2 事業費	1,980,000	1,286,669		293,331	
(1) 総会・懇談会費	650,000	721,271	71,271		総会案内印刷・発送代(1429+1500分)
(2) 会報発行費	400,000	229,564		170,436	会報「たんぼぼ」17号印刷代等
(3) 在校生支援費	300,000	247,698		52,302	卒業証書ホルダー代
(4) 卒業生企画支援費	80,000	27,806		52,194	受験準備生奨励会費用
(5) 同窓会企画費	20,000	0		20,000	
(6) Webサイト運営費	10,000	5,466		4,534	レンタルサーバー費用
(7) 支部助成費	20,000	0		20,000	
(8) 同窓会名簿管理費	100,000	54,864		45,136	会員データ年間保守管理料
(9) 預立費	0	0		0	
3 予備費	1,432,472	0		1,432,472	
(1) 予備費	1,432,472	0		1,432,472	
合計	3,282,472	1,327,438		1,955,034	

3 差引残高 (単位: 円)

項目	金額	摘要
総収入額	3,248,272	
総支出額	1,327,438	
差引残高	1,920,834	次年度へ繰越

平成30年度(平成31年度入試) 大学入試合格者数延べ人数

※()数は現役合格者内数

【国立大学】	【私立大学】
弘前大	2 (0)
岩手大	3 (3)
東北大	3 (2)
宮城教育大	6 (5)
秋田大	1 (1)
山形大	23 (20)
福島大	2 (1)
筑波大	2 (2)
宇都宮大	2 (2)
埼玉大	5 (5)
東京学芸大	1 (1)
東京農工大	1 (0)
一橋大	1 (1)
新潟大	1 (1)
富山大	1 (1)
金沢大	1 (0)
国立大学合計	55 (45)
宮城大	18 (17)
岩手県立大	1 (1)
秋田公立大	3 (3)
首都大東京	1 (1)
長岡造形大	2 (2)
金沢美術工芸大	2 (2)
長野県立大	1 (1)
長野大	1 (1)
静岡県立大	1 (1)
公立大学合計	30 (28)
国立大学合計	85 (73)
東北学院大	102 (96)
東北工大	9 (9)
東北福祉大	31 (29)
東北医薬大	7 (7)
宮城学院女子大	36 (34)
石巻専修大	2 (2)
尚絅学院大	11 (11)
仙台白百合女大	1 (1)
東北芸術工大	17 (17)
獨協大	0 (1)
青山学院大	1 (1)
北里大	2 (2)
駒澤大	2 (1)
芝浦工大	0 (1)
成蹊大	2 (2)
専修大	7 (6)
多摩大	4 (3)
中央大	9 (5)
津田塾大	1 (1)
東京理科大	2 (1)
東京造形大	2 (2)
東洋大	2 (2)
日本大	2 (2)
法政大	2 (1)
武蔵野大	4 (3)
明治大	2 (1)
明治学院大	4 (1)
立正大	1 (1)
早稲田大	3 (2)
神奈川大	7 (6)
東海大	2 (1)
京造造形大	4 (4)
同志社大	2 (0)
立命館大	3 (3)
その他私立大学	41 (21)
私立大学合計	327 (280)

平成29年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 特別会計 決算書
(平成29年8月～平成30年7月)

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
収入	0	0			
繰越金	10,522,570	10,522,570			前年度繰越金
雑収入	891	592		299	預金利息
合計	10,523,461	10,523,162		299	

残金 10,523,162 円は、次年度へ繰り越します。

令和元年度 宮城野高校同窓会役員・執行部

平成31年4月1日現在

役職	氏名(回生)
会長	佐司 謙(10)
副会長	柴田 康博(1) 菅川 直子(1)
議長	吉澤 和(16)
副議長	吉田 友香(1) 藤田 航平(18)
会計	西海 美(1) 堀込 洋子(7)
会計監査	柴田 久典子(2) (白石加奈子(6))
総会開催班	大泉 卓也(10) 宮下 陽菜(12)
会報班	佐藤 詔太(10) 加藤 健太(19) 村尾 雄斗(19) 武山 乃梨(21) 大久保步美(22) (向部陽菜(6))
在校生支援班	吉田 瑞生(18) 齋藤 愛菜(22) 萩原 珠衣(22)
卒業生支援班	竹内 大空(16) 相澤 梨沙(17)
同窓会企画班	上野 岳(10) 新入回生(持ち帰り幹今年度は22回生)
WEB班	佐司 謙(10)
参考	遠藤 吾夫(現校長)
宮城野高校事務局	遠藤 和浩(総務部長) 佐竹 明浩(総務部) 櫻井 達夫(事務室長) 藤原 昇(総務部)

お世話になった先生方

平成31年3月

転任された先生方	
吉田 信樹	教頭先生
木村 一治	先生
佐藤 理	先生
南川 浩	先生
藤岡 順	先生
八島 康平	先生
高橋 智恵	先生(事務次長)
口比 智美	先生(主事)
藤村 典彦	先生(主任技師)
大槻 春樹	先生(英語助手)
高橋 達吾	先生
只野 彩佳	先生
佐久間圭輔	先生
坂本 一太	先生
小田島千尋	先生(非常勤講師)

Staff 募集!
同窓会では一緒に活動して
くださる方を募集しています。
ご関心のある方は同窓
会事務局までご連絡下さい。

Tampopo Project 2019-2020

同窓会では皆様からの記事のご提供、ご意見ご感想をお待ちしています。
また、皆様の活動の支援も行っていますので、事務局までご連絡下さい。

卒業者数(1～22回生)

普通科	3,453
総合学科	1,738
美術科	848
合計	6,039

次期総会・懇親会のお知らせ

令和元年度の同窓会総会・懇親会は9月14日(土)です。詳細は同封案内状をご覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

同窓会からの刊行物を送付するため、住所変更の際は総会案内ハガキやWebサイト、直接事務局へ電話等でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

たんぼぼ18号 2019.7.7発行 5300部

初めて会報誌作成に携わり、これを完成させるまでの苦労を感じました。次号以降も、読みやすく、「母校」を感じられる誌面を作れるように努めます。会報誌は年に1度の発行ですが、ぜひ母校の近況を日頃から気にかけてお返し頂けたらと思います。(村尾雄斗(19))

会報について、関わらせていただいたことにより、様々な方の気持ちや努力が込められているのだなと改めて感じました。微力ですがこれからも会報作りのお手伝いをさせていただきます。(武山乃梨(21))

これからも「たんぼぼ」は変わっていくと思うので心待ちいただければ幸いです。(加藤健太(19))

今号から新たに3人が仲間に加わりました。一から教えること、皆をまとめることに難しさを感じながらも企画から完成までみんなできたと感じています。仲間っていいですね。来年は創立25周年記念事業があります。この機会に宮城野の仲間と連絡を取ってみてはいかがでしょうか。(佐藤詔太(10))